

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	2274202254		
法人名	株式会社イッセイ		
事業所名	グループホーム平和	ユニット名	第1ユニット
所在地	静岡県静岡市清水区西久保1丁目13-26		
自己評価作成日	令和 6年 10月 23 日	評価結果市町村受理日	令和 6年 12月 9日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	https://www.kaijokensaku.mhlw.go.jp/22/index.php?action=kouhyou_detail_022_kan=true&Jigvo_syoCd=2274202254-00&ServiceCd=320&Type=search
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	合同会社 静岡評価センター		
所在地	静岡県静岡市清水区船越南町745番地の7		
訪問調査日	令和 6年 11月 19日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

認知症になっても最期まで住みされた町で人として暮らすこと、その方の尊厳を常に考えながら18年経ちました。地域に暮らすホームとして住民にも周知されてきました。代表自ら地域に溶け込み社会貢献に尽力しています。在宅での1人暮らしが限界となり地域の高齢者が入所され自然と地域の住民が集まってきました。今年度は5年ぶりに地域に向けて平和けんこう祭りを開催しました。地域の商店主も参加し出店の協力もいただいたりお祭りを盛り上げるコツを伝授していただいたりと地域ぐるみで祭事を執り行えました。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

コロナ禍を乗り越え、利用者を取り巻く制限が少しずつ緩和している。家族の面会や職員との散歩など、前回の外部評価訪問時に比べて玄関ホールを往來する関係者が増えている。職員の利用者への寄添いと家族への対応は、優しい言葉がけと目線を合わせた姿勢で行われていることが評価当日に窺えた。地域防災への意識は高く、BCP(事業継続計画)策定の取組みの中で、「地域連携」の重要性を強く感じ、以前から自治会長に相談を持ちかけている。管理者自らの働きかけにより、地域のグループホームと防災時における協力関係を結ぶことに成功している。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	住み慣れた街とは顔見知りの関係を築いていくことであり近隣との付き合いを大切にしています。隣の住民とはホームの生垣に咲く植木の伐採したものをヤギの餌にしていたりしています。地域の情報交換もできています	利用者が住み慣れた町で最期まで人として暮らすためには、根強い地域との関わりや連携体制が重要であると考えている。職員も理念を理解し、近隣への散歩や近所付き合いなど、無理なくできることを日々継続している。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	代表は長年にわたり神社の総代を務めています。地域のボランティア活動として広く地域住民とかかわりを持っています	地域連携体制構築に向けて、積極的に取り組んでいる。管理者自らの働きかけにより、地域のグループホームと防災時の協定締結に至っている。5年ぶりに「平和けんこう祭り」を開催し、地域交流を再開している。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	運営推進会議では施設内のことだけでなく地域に暮らす認知症高齢者の情報共有、対応法などの話題も出ています		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実践、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議では地域住民よりご利用者の地域で暮らしていたご様子を伝えてくださることがあります。遠方に住むご家族よりも知り得たことがありサービス導入をするうえで役にたったことがありました	今年度から義務化した事業継続計画策定、また、関連する地域交流と連携についてが直近3回の主な議題である。地域の連携先を招いて、事業所の役割や課題について話し合う機会となっている。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	毎月、介護相談員さんが来所されます。施設の状況、変化のあったご利用者の情報を伝えます最後に相談員さんから感想を聞かれますが疑問に思われたことは十分に説明をさせていただいています。	運営推進会議には、地域包括支援センター、民生委員、自治会副会長など必ず地域関係者が出席している。地域包括支援センターに議事録を提出する際には、他施設の連携状況などについて質問している。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束は定期的見直しや拘束しないケアについて見返りもふくめ話し合いがされています	ミーティングで身体拘束事案を示し、具体的に話し合っている。また、職員同士で負担軽減を図りながら、お互い発言に注意するように促している。「身体拘束廃止推進指針」をホームページで公表し、推進に努めている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	高齢者虐待が疑われる言動についてはスピーチロックを中心に定期的に話し合いがされています		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	現在、ご利用者で成年後見制度を利用している方がいるので制度利用の必要性も含め話し合いが行われ理解を深めています		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約の改定の際は事前にご家族に文書又は口頭で説明させていただいています。契約前にご本人に面接させていただき事例もあり事前アセスメントで不安、疑問を察知することもあります		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ご家族の意見は職員に伝えます 運営推進会議では、ご家族やご利用者の意見、要望を、ご家族の思いとして話題にすることがあります	面会や電話で伺った家族の要望などは、ミーティングで職員に周知し改善に努めている。「毎月の献立や介護記録(写)で普段の様子がわかり安心」や「忙しい中でも落ち着いて話を聞いてくれる」など感謝のコメントが寄せられている。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	代表者は、賞与支給時に常勤職員と面接し意見や提案を聴くようにしています	指示内容の変更等は、理由や経緯を説明して職員に理解を促している。献立作成の負担に関しては、管理者が参入して職員の負担軽減を図っている。以前からの課題である休憩時間の取り方は、前向きに検討中である。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	乳幼児を抱えながら就業している若い世代、親を抱えている世代については就業条件を緩和しています。今年度から処遇改善加算について毎月給与に反映させることに伴い加算手当の条件の可視化を行っています		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	最近入職した職員に対し指導者をつけ業務評価表に基づき外部の研修も取り入れました		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	業務継承計画に基づき近隣のグループホームに働きかけ協定書の締結にこぎつけました。運営推進会議に同席していただきました。今後は連携に向け相互訪問へとつなげていくように働きかけていきます		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入所前はご本人、ご家族との話し合いの中から不安、要望を察知し職員に情報を共有していますテーブル席の配置、居室内のベッドや家具の配置も考慮しリロケーションショックによる混乱を最低限に抑えるようにしています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入所前はご家族に十分な話し合いは行っています 要望の中で施設でできること、できないことは明確にし無理のない関係作りを心がけています		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	言葉が出てくるのが遅く他ご利用者とコミュニケーションで支障が生じることを心配されていたご家族がいました お話し好きのご利用者と活動(毎日の体操や音楽療法)を共にすることで笑顔や会話のキャッチボールができています		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	洗濯ものを畳んでくださるご利用者が畳めないご利用者に丁寧に教えて下さっている姿を見かけます また、不安になるご利用者のお話を傾聴してくださるご利用者がいます。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	スポーツトレーナーをしているご長男様が頻回に来所して下さり母の足のむくみを緩和できるよう20分ほどマッサージをしてくれます		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	子供がいない1人暮らしのご利用者には約10人程の姪や甥がいます。身元引受人は姪が1人代表してかわりを続けています。時々、外食や墓参りにでかけ馴染みのお店からシラスを買って帰ってきます	家族の面会や職員との散歩など、前回の外部評価訪問時に比べて玄関ホールを往来する関係者が増えている。馴染みの関係性の継続として、以前のように隣接する同法人のデイサービスに通うための支援を行っている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	高次脳機能障害のある若年のご利用者が左手のリハビリのため同意をもらえそうな職員やご利用者の肩もみをしてくださることで色々な方とかかわりを持っています		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	地域のボランティア活動をしているご利用者のご家族は契約が終了していますが長年にわたり地域の活動で一緒することもあり関係性は続いています		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	レクリエーションではパズル・トランプ・塗り絵・カルタ等がありそれぞれ好きなものを自由に選び活動されています 選ぶことが困難なご利用者には職員が横につき行っています	入所時の本人の意向や家族の要望を踏まえ、可能性を日々観察しながら本人の思いの把握に努めている。意思表示や自己決定が困難な人にも「意向や希望を伺う」ことを継続し、必要に応じて家族に確認を行い介護計画に反映させている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	職員は入所相談があった段階から在宅サービス利用を含めた日常生活、家族情報等を共有しています		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	以前はジグソーパズルに興味がなかったご利用者が最近、興味を示されるようになり毎日少しずつやっていくうちに今では1時間程集中してできるようになりました		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ミーティングや個別の聞き取りで現状の出来ていること、できないことを報告しています、ご家族が面会に来られた時は日頃の様子をお話ししたりご要望をお聞きした際は伝わるようにしています。課題となることもあり介護計画に反映しています	短期目標を踏まえたサービス内容を具体的に示し、PDCA(計画、実行、評価、改善)の流れに沿ってモニタリングを実施している。ケアカンファレンスで実施状況と結果、課題を確認し、家族の同意を経て介護計画を実践している。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	排泄、食事量、その日の出来事等は個別の介護記録に記入しています 職員間の情報共有は業務日誌や当日の予定、外出、散歩、病院受診者、心身の状況等をメモ方式で記録するものがあります		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	心肺機能の悪いご利用者をお引受けしました 重篤になった際に別のキーパーソンが現れ退所させ家で看取る希望をされました 身内が交代で宿泊、付き添うことで希望する家族の看取りができました		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	施設の外の外壁にはダミーですが防犯カメラを付けてあります 平屋ですが窓を開放してあっても部外者が侵入してくる気配はありません		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	内科以外、眼科、耳鼻科はご家族やご本人の希望する病院に受診されています	利用者全員がホーム協力医を主治医として毎月往診を受けている。主治医とは24時間連携体制にあり、看取り支援も行っている。管理者含め2名の看護師が在籍しており、医療面において家族の安心に繋がっている。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	管理者、看護職員が、ご利用者の健康管理を行っています 介護職員はご利用者の体調の変化を報告する体制ができています		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	今年のご利用者の入院はありませんでした		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域との関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入所時にご家族に重篤化した場合の指針を説明し書面で同意をいただいています	重度化及び看取り介護に関する説明は、重度化した場合に改めて本人(家族)に行っている。特別養護老人ホームへの移行等も含めて、家族の思いや意向を確認している。ホームでの看取りを希望する場合は、できる限りの支援を行う方針である。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	てんかん発作を起こすご利用者がいます。発作時の対処についてマニュアルになっています		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	業務継承計画の作成後、毎年の見直しについて見直しをした部分については運営推進会議でお話しさせていただいています 災害時の対応についてはマニュアルは目につくところに掲示、自家発電機は毎月作動点検を行っています	BCP(事業継続計画)を策定し、近隣グループホームと協力体制を築いている。運営推進会議において、地域連携の重要性について発信し協力体制の強化に努めている。職員が少ない時間帯に夜間想定訓練を行い、ホームの倒壊回避のため耐震工事を本年度実施している。	BCP(事業継続計画)について職員に周知しているが、理解度は様々である。より充実した計画、また、ホームの実態に合った計画となるように、計画の意図や重要性について職員の理解促進を図ることが望まれる。

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	トイレや口腔ケアの介入を拒否するご利用者への対応としてトイレへ移動したタイミングで中まで介入させていただいたりご本人の動きや表情をみながら洗面所で口腔ケアの介入に成功しています	トイレや入浴時に、また、居室が外から見えないように暖簾の長さを変える等、プライバシーや羞恥心への配慮を行っている。自らの思いや意見を発信できない利用者については、注意が疎かにならないように意識して心がけている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように動きかけている	毎日体操の声掛けで場所を移動していただいています。腰が痛いからということで体操を拒否されるご利用者や集団を好まないご利用者には無理強いはしていません		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	新聞を閲覧したい、テーブルでトランプをしたい、朝食後、居室で休みたい、居室でテレビを見たいご利用者等、ご本人の意向にそった過ごし方をされています		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	着る物は職員が一方向的に決めるのではなくご本人の希望を取り入れながら洋服選びをしています		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	日常の会話からご利用者の好みを把握するようにしています。食事前の食材の皮むき、食後洗った食器類の拭き上げをお願いしています	職員が献立を作成し、朝食以外は食事専任の助手が調理している。訪問日には、職員が一人ひとりの食事の進み具合などを確認しながら、食事介助を行っていた。食後にお盆や食器を拭く利用者の姿も確認している。家族と出かけて外食する人もいます。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	少食だった方には盛り付けも食べられる量でお出しし均一な盛り付けはしていません		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	義歯を好まず歯のない方でも毎食後洗口液を使いお口をゆすいでいただいています		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	排泄表を使い1人ひとりの排泄パターンを把握しています 朝食後に排便がある人は声掛けや誘導の順番を早くしています	排泄表でパターンを把握し、一人ひとりの状況に合わせて誘導している。夜間帯の声掛けがトイレに行くきっかけとなり、衣類等の汚れが軽減した例がある。ヨーグルトや甘酒など、各々が好きな物で便秘改善対策を行っている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	昼食にデザートとして自家製のヨーグルト(バナナ入り)を出しています 朝、ご希望でヤクルトを飲まれているご利用者が居ます		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	体調やご本人の希望により変更はあります 変更になった場合は必ず声掛けをしています 入浴の介入を頑強に拒否するご利用者がいます。入浴中はドアの外で待機し不快にならないよう外から声をかけています	入浴は週3回程度で、安全を最優先に清潔保持に努めている。利用者の希望で同性介助を行ったり、入浴剤を使用したりしている。入浴を拒む人には清拭で対応し、失禁の場合には半身浴を行っている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	動きが少ない同じ姿勢を続けている方は午後に居室で休んでいただいています ご自分から希望されて休まれているご利用者もいます		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	ご利用者の介護記録ファイルの中に内服薬情報の詳細が入っています 内服薬の変更があった際は業務日誌に記入し情報共有しています		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	昼食後、午後のおやつ迄多くのご利用者が一緒にパズルやカルタなどをされ楽しまれています。パズルを独力ではめ込むのが難しい方は出来るご利用者が助けてあげている姿を見かけます		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	外出して家に帰り昼食をご家族ととられて帰室するご利用者や外食に出でいられるご利用者もいます。好天時は散歩に出かけますが「私も行きたい！」と玄関まで出てこられるご利用者も一緒に散歩に出かけています	天気の良い日には、2人ずつ順番で近所の散歩に出かけている。中庭の落葉拾いをする人もあり、身体に無理のない気分転換を行っている。バス旅行など、利用者全員で遠出をすることは難しくなっているが、個々で家族と外出(外食)する人がいる。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	お金を所持し自己保管している方がいます。忘れないよう時々所持金の保管について確認させていただいています。他にはホーム側で少額ですがお金を預かり定期的にノンアルコール飲料を購入させていただく方がいます		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	希望があれば電話でお話をされることがありお手伝いをさせていただいています。最近、アメリカに住む娘様とスカイプでやりとりをされています		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	好天時は共用空間にある天窗を開け光の調整をしています。掲示物は季節に応じて替えたりしています。中庭には落葉樹が植えられているので季節感が味わえます	ホーム内の廊下やトイレは広く、天窗の光で全体的に明るい。居間では、皆で音楽療法や体操を行ったり、新聞、ぬり絵、トランプなどで思い思いにくつろいでいたりしている。不快のないように、音の大きさや光の強さには気を配っている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	パズル、トランプ、ボールを使い個人又はご利用者様たちとゲームをしています。声をかけても参加されないご利用者はテレビを鑑賞されています		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ベッド、タンスの配置はご本人やご家族と相談して決めています。好みの物や日常よく使う物はご本人の分かる位置に置かれています	広めの居室は天井が高くて明るい。押し入れ等の収納は設置していないが、各々で使いやすい収納家具を置いている。安全への配慮から、動線を塞ぐことなく広いスペースを確保している。リネン類の交換や洗濯は定期的に行い清潔を保っている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	最近は歩行器で移動されることが多くなっています。車いすで足漕ぎ移動される方は手すりを持ちながら移動されています		

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	2274202254		
法人名	株式会社イッセイ		
事業所名	グループホーム平和	ユニット名	第2ユニット
所在地	静岡県静岡市清水区西久保1丁目13-26		
自己評価作成日	令和 6年 10月23 日	評価結果市町村受理日	令和 年 月 日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	https://www.kaisokensaku.mhlw.go.jp/22/index.php?action=kouhyou_detail_022_kani=true&Jigyo_syoCd=2274202254-00&ServiceCd=320&Type=search
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	合同会社 静岡評価センター
所在地	静岡県静岡市清水区船越南町745番地の7
訪問調査日	令和 6年 11月 19日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

認知症になっても最期まで住みされた町で人として暮らすこと、その方の尊厳を常に考えながら18年経ちました。地域に暮らすホームとして住民にも周知されてきました。代表自ら地域に溶け込み社会貢献に尽力しています。在宅での1人暮らしが限界となり地域の高齢者が入所され自然と地域の住民が集まってきました。今年度は5年ぶりに地域に向けて平和けんこう祭りを開催しました。地域の商店主も参加し出店の協力もいただいたりお祭りを盛り上げるコツを伝授していただいたりと地域ぐるみで祭事を執り行えました。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

※複数ユニットの外部評価結果は1ユニット目の評価票に記入されています。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I.理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	住み慣れた街とは顔見知りの関係を築いていくことであり近隣との付き合いを大切にしています。隣の住民とはホームの生垣に咲く植木の伐採したものをヤギの餌にしていたりしています。地域の情報交換もできています	※複数ユニットの外部評価結果は1ユニット目の評価票に記入されています。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	代表は長年にわたり神社の総代を務めています。地域のボランティア活動として広く地域住民とかかわりを持っています		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	運営推進会議では施設内のことだけでなく地域に暮らす認知症高齢者の情報共有、対応法などの話題も出ています		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議では地域住民よりご利用者の地域で暮らしていたご様子を伝えてくださることがあります 遠方に住むご家族よりも知り得たことがありサービス導入をするうえで役にたったことがありました		
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	毎月、介護相談員さんが来所されます 施設の状況、変化のあったご利用者の情報を伝えます最後に相談員さんから感想を聞かされますが疑問に思われたことは十分に説明をさせていただいています		
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束は定期的見直しや拘束しないケアについて見返りもふくめ話し合いがされています		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	高齢者虐待が疑われる言動についてはスピーチロックを中心に定期的に話し合いがされています		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	現在、ご利用者で成年後見制度を利用している方がいるので制度利用の必要性も含め話し合いが行われ理解を深めています		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又はや改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約の改定の際は事前にご家族に文書又は口頭で説明させていただいています 契約前にご本人に面接させていただき事例もあり事前アセスメントで不安、疑問を察知することもあります		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ご家族の意見は職員に伝えます 運営推進会議では、ご家族やご利用者の意見、要望を、ご家族の思いとして話題にすることがあります		
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	代表者は、賞与支給時に常勤職員と面接し意見や提案を聴くようにしています		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	乳幼児を抱えながら就業している若い世代、親を抱えている世代については就業条件を緩和しています。今年度から処遇改善加算について毎月給与に反映させることに伴い加算手当の条件の可視化を行っています		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	最近入職した職員に対し指導者をつけ業務評価表に基づき外部の研修も取り入れました		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	業務継承計画に基づき近隣のグループホームに働きかけ協定書の締結にこぎつけました。運営推進会議に同席していただきました 今後は連携に向け相互訪問へとつなげていくように働きかけていきます		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	介護サービス+高額な自費サービスをいれながら独居生活を続けてきたご利用者が入所するにあたり在宅で受けていたサービスの継続したい要望を最大限に受け入れることにしました		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	高額な介護費を支払いながら独居生活を続けてきましたご利用者のご家族の相談で一番の不安は災害時に遠方に住んでいるのでいざという時に助けに行けないということでした		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	歩行がおぼつかない独居ご利用者は、いつも手引きで移動し自宅内はつかまって移動していたので安全に移動できる手段を検討することで入所前に歩行器を利用しデイサービスで練習してからの入所としました		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	独居で暮らしてきたご利用者は生活の支援は受けていましたが以外は自力でやってきました。おぼつかない場面でもご自身のやり方を尊重しています		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	施設入所後、ご家族の支援が終了するのではなく月に一度家に帰りご家族で過ごす時間をもつことでご利用者の生活が希望のあるものになっています		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	入所前は毎日のようにデイサービスに通い馴染の職員や通所ご利用者との関係が途切れないように入所後も週3回のペースでデイサービスを利用しています		
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずにご利用同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	フロアで過ごすことが多いご利用者の席はほぼ定着しています 帰宅願望が始まっても隣でお話を聴いてくれるご利用者がいることが支えになっています		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	地域のボランティア活動をしているご利用者のご家族は契約が終了していますが長年にわたり地域の活動で一緒することもあり関係性は続いています		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	寡黙で介入の難しいご利用者がいらっしゃいます1人で車いすを自走され居室とフロアを行き来します。落ち着きなく動かれていても静観し見守りさせていただいています		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	これまでの生活歴は入所相談にみえられた際にお聞きし職員に情報共有しています		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	ご自分のペースで暮らされています 終日居室でラジオを聴いて過ごす方、フロアのテレビで野球観戦される方、個人でできる力のある方は洗濯ものを畳んだり野菜の皮むき、食器の拭き上げを行っています		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ご利用者に課題が出てきた場合は各勤務時の引継ぎで話し合いアイデアを出してもらい暫定プランとして介護に反映してもらいます 結果が良好であれば介護サービス計画書として作成します		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	食事、排泄、日々のご様子は個別に介護記録に記入 業務日誌にはご利用者の心身の変化について記入、職員で情報共有しています		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	1か月に1回外泊を希望ご家族と過ごすご利用者がいます。日頃は空き家になってしまった自宅に遠方からご家族が来られます 自費で安い介護ベッドの提案、外泊中の汚物の処理を引き受けています		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	施設の外の外壁にはダミーですが防犯カメラを付けてあります。平屋ですが窓を開放してあっても部外者が侵入してくる気配はありません		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	内科以外、眼科、耳鼻科は、ご家族やご本人の希望する病院に受診されています。		
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	管理者、看護職員が、ご利用者の健康管理を行っています 介護職員はご利用者の体調の変化を報告する体制ができています		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	今年のご利用者の入院はありませんでした		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入所時にご家族に重篤化した場合の指針を説明し書面で同意をいただいています。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	食事を駆け込んで飲み込むように食すご利用者がいます。横に付添い食事の仕方を見守り窒息時の対応について身に着けるようにしています		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	業務継承計画の作成後、毎年の見直しについて見直しをした部分については運営推進会議でお話しさせていただいています 災害時の対応についてはマニュアルは目につくところに掲示、自家発電機は毎月作動点検を行っています		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	言動に注意し丁寧語を心がけています ご利用者への言葉かけひとつで介入がスムーズにいくことがあります		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	食事が始まると急に居室に帰られるご利用者がいます ご利用者の表情を観察し食事への不満があるのではないかと発言した職員のアイデアにより食事の形態を変更しました。結果スムーズに食事を摂ってくださることが多くなりました		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	毎日の体操や週1回の音楽療法、好天時の散歩などお誘いはしますが居室で過ごしたい、横になりたい等のご希望があれば無理強いしません。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	起床時は整容ができるよう洗面所での洗顔の声掛けをさせていただきます その日に着る物のご利用者に選んでいただけるようにしています		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	噛む力や飲み込む力を見ながら食事の形態を検討しています 食後は台所で汚れた食器を洗っていただいています		
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食べられる量でお出ししています。1日の中でたんぱく質や生野菜をメニューに取り入れています1500ccの水分量摂取を目安に麦茶(少しお砂糖混ぜる)も導入しています		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後の歯磨きは準備、声掛けか一部介助等で全員行っています 歯間ブラシも使うご利用者はお手伝いしています		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	日中は定時で声掛け、誘導をさせていただいています 夜間はトイレの声掛けをさせていただきご利用者もいます。声掛けさせていただきトイレをすることで夜間、漏れによる寝具、衣類への不快な汚染が激減しました		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	昼食にヨーグルト(バナナ入り)をデザートとして召し上がっています。毎日、ほとんどの方が20分ほど体操を行っていただいています		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	入浴時は入浴の予定を声掛けさせていただいています 拒否があるときは、時間や職員を替えてみますが無理強いはせずに翌日になることもあります		
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	昼食後はご自分から午睡されるご利用者、午前中でもテーブル席で居眠りされているご利用者はベッドで休んでいただいています		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	ご利用者の介護記録ファイルの中に内服薬情報の詳細が入っています。内服薬の変更があった際は業務日誌に記入し情報共有しています		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	食後、ご自分の仕事であるかのように台所に立ちエプロンをして汚れ物を洗ってくださるご利用者がいます		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	お墓参りや外食へのご家族と一緒に外出されるご利用者がいます。面会時にご本人からご家族に希望されるようです		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	お金を持っていらっしゃるご利用者がデイサービスに参加された際に買い物を楽しまれました		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご利用者自ら電話することはなくご家族から着信があった際にお電話を掛けるおい手伝いをしています		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	天窓からの明かりはテーブル全体が明るい雰囲気を出しご利用者同士が気持ちよく過ごせる共用空間になっています		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	フロア道路側には2人かけのソファが置かれテーブル席以外で1人になれる場所があります時々帰宅願望があり自席から立ち出口を探されるご利用者が疲れて放心した表情で座っています		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	各居室には愛着品やご家族の写真、仏壇、遺影が置かれています		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	手すりなどがところどころ設置されていることで握りながらフロア内を移動されています。居室から出てこれるとトイレの場所が大きく掲示され場所の取り違えを防いでいます		